

★ 提案 45 の賛成意見 ★

提案 45 は、過度な健康保険料率の引き上げに歯止めをかけます。

健康保険の保険料は、2002 年以來 185% も上昇しました。これはインフレ率の五倍です。

保険料の増加が不当な場合でも、California の誰にもそれを止める力がありません！

州規制機関が「不当」と判断してもそれを止めることができなかつた 2 億 5,000 千万ドルの保険料率の引き上げに、California 州民が最近直面した理由はまさにこれなのです。

提案 45 は、保険会社が 580 万人の個人消費者と小事業主の保険料を引き上げる前に、偽った場合は偽証罪に問われることを条件に、帳簿を公開し、保険料率の引き上げを公的に正当化することを健康保険会社に義務付けます。

提案 45 は：

- 保険料率の増加を正当化するため、保険会社に文書の公開による開示を義務付けます。
- 公聴会と、不当な保険料の増加に異議を申し立てる権利を許可して透明性を促進します。
- 保険長官に過度な保険料率の増加を否認し、払い戻しを命令する権限を与えて、説明責任を設定します。

提案 45 は、健康保険会社の不当な利得行為から患者を保護します。負担しきれない保険は、自己破産の主な原因となっている医療請求書の未払いにつながります。アメリカ人の約 40% が、高い費用を理由に医師の診察や推奨される治療を諦めています。

提案 45 は、健康保険会社の便乗値上げに歯止めをかけ、健康保険料を減少させます。

どのようにしてわかるでしょうか？

提案 45 は、消費者の何十億ドルもの資金を節約した、有権者に承認された別の発案の保護を拡張します。

California の自動車保険と自家所有者保険には、1988 年以來、保険料の引き上げを正当化すること、また保険料の増加については許可を得ることが義務付けられています。

これらの保険保護対策（提案 103）が有権者によって制定されてから、California は二十年間にわたって自動車保険料が低下した全国でも唯一の州となっています！Consumer Federation of

America は 2013 年 11 月、California の自動車保険料規制は過度な保険料率の増加を防止することで California の消費者に 1,020 億ドルの節約もたらしたと報告しています。提案 45 はこれらの規則を健康保険会社に適用します。

他の州の健康保険料率を審査した全国的に認識されている保険数理士と Consumer Watchdog は、提案 45 が毎年 California 州民に 2 億ドル以上の節約をもたらすと推定しています。

提案 45 は、すべての人に健康保険への加入が義務付けられている現在、さらに必要とされています。

連邦の医療法は、過剰な保険料率の引き上げを止める権力を規制機関に与えません。

Los Angeles Times 誌の編集委員会は、「2014 年より、保険制度改革法によってすべてのアメリカ人成人に健康保険への加入が義務付けられている。保険会社によるこの専属市場からの搾取を止める権力を規制機関に持たせるべきだ」としています。

San Jose Mercury News 誌の社説は、「California は、健康保険料率引き上げの統制権限のある、米国内 50 州のうち 36 州という大多数の州に加わるべきだ」としています。

California の大手健康保険会社はすでに、提案 45 を阻止するために 2,540 万ドルを寄付しています。これらの会社は、過去十年間提案 45 のような透明性と説明責任を拡大する法案成立を阻止してきました。引き続き高額な保険料率を皆さんに課することを望んでいるのです。惑わされてはいけません。

提案 45 は、健康保険会社による保険料率の引き上げとその不当な費用の消費者への転嫁を防止することで医療費を低減します。

共に提案 45 を支持して健康保険費用を節約しましょう。詳細は、[www.yeson45.org](http://www.yeson45.org) をご覧ください。

よろしく願いいたします。

Deborah Burger、会長  
California 看護師協会

Jamie Court、会長  
Consumer Watchdog

Dolores Huerta、公民権リーダー

★ 提案 45 の賛成意見に対する反論 ★

提案 45 は、健康保険料率を制御することではありません。California は今年になって健康保険料率を制御し、医療給付を拡大するための新しい独立した委員会を発足させたばかりです。

その代わりに、提案 45 は、医療に関する権限を持つのが誰であるかに関するものです。独立委員会か、保険会社や公判弁護士などの特別利益団体から選挙運動献金を受け取ることできる一名の政治家です。

提案 45—California の新しい独立委員会を弱体化させる

独立委員会は、費用を管理し、Los Angeles Times 誌が言う「医療費に関する良い知らせ」をもたらすものです。

しかし、提案 45 を支持する特別利益団体には、Sacramento の一人の政治家に健康保険の給付内容と保険料率に関する巨大な権限を与えるという異なった意図があります。

この権限の掌握は、官僚的な対立、大幅な遅れ、消費者にとってのより高い費用などで独立委員会を妨害し、医療に関するより大きな影響力を強力な特別利益団体に持たせることとなります。

提案 45—欠陥のあり、費用がかかる、人を惑わすもう一つの発案

- 提案 45 では、保険の給付内容と治療の選択肢を一人の政治家が統制できることとなります。治療に関する決定を政治

家の政治的課題にさらすべきではありません。

- 費用のかかる重複した官僚機構に資金を提供し、発案者が意図した 2012 年の発案で特定されなかったために発生する法的問題を解決するために、州の管理費用を年間何千万ドルも増加します。
- 隠された思惑—費用のかかる訴訟。発案者は、前回発案した提案の下、1,100 万ドルの弁護士費用を得ています。そして今回再び、提案 45 によって可能になる高価な医療訴訟からさらに何百万ドルもの利益を得ようとしています。
- 大企業には適用されません。

医師、看護師、患者、診療所、および小企業と共に、提案 45 に反対票を投じてください。

Gail Nickerson、会長  
California 僻地診療所協会

Robert A. Moss 医学博士会長  
南 California 腫瘍学協会

Kim Stone、会長  
California 民事裁判官協会

★ 提案 45 の反対意見 ★

私たちの誰もが医療制度を改善したいと望んでいますが、提案 45 は私たちが必要とする改革ではありません。

それとは反対に、提案 45 には欠陥があり、発案者と特別利益団体に利益をもたらすために草案された費用のかかる発案です。一方で、患者、消費者、および納税者はより高い保険料率、さらに費用のかかる官僚機構、医療を妨げる新たな障害に直面しています。

提案 45 は、状況を改善するのではなく、悪化させます。そのため、California 州の医師、看護師、患者、診療所、病院、納税者、および小企業すべてが提案 45 に反対しています。

一人の政治家に大きすぎる権限を与える — 提案の第 1861.17(g)(2) 項

提案 45 は、医療給付に関する圧倒的な統制力を一人の政治家、つまり保険長官に与えます。保険長官は公判弁護士や保険会社、その他の強力な特別利益団体から選挙運動献金を受け取ることができます。

提案 45 の下、この政治家は皆さんの保険の給付内容や治療オプションをコントロールできるようになります。Sacramento の特別利益団体ではなく、患者と消費者の利益を優先する決定が行われるようにするための抑制と均衡は実質上まったくありません。

「提案 45 は、一人の政治家に与えられる医療に関する権限が大きすぎます。治療に関する決定は、政治的課題を持った個人ではなく、医師と患者が行うべきです。」 — Jeanne Conry 医学博士、産婦人科 — 米国産科婦人科学会前会長、第 IX 区

重複した、費用のかかる官僚機構を生み出す — 提案の第 1861.17(e) 項

提案 45 は、より高価な州官僚機構を作り出し、健康保険料率を監視する重複した二つの機関を生み出し、費用のかかる他の規制との混乱を招き、医療制度に形式的な手続きを追加することになります。

無所属の立法分析事務所は、この法案によって州の管理費用が年間何千万ドルも増加すると推定しています。この費用は究極的には消費者が支払うことになります。

私たちの学校や子供たちの医療プログラム、またはその他優先事項に十分な資金を提供できないときに、費用のかかる新しい重複する州官僚機構を作り出すべきではありません。

CALIFORNIA にはすでに新しい独立した医療委員会がある California は、消費者に代わって健康保険プランの保険料率を交渉し、高すぎる場合は健康保険プランを否認する責任を担う新しい独立委員会を設立したばかりです。

この独立委員会は、コストを管理して対象となる医療給付の拡大にうまく機能しています。一人の政治家に特別利益団体から選挙運動献金を受け取って、この委員会の作業を妨げることを許可すべきではありません。

大企業は例外とする — 提案の第 1861.17(g)(3) 項

提案 45 は、小企業には費用のかかる新たな規制と官僚機構の負担を負わせる一方で、大企業は免除されています。医療制度を改革するのであれば、小企業や個人だけでなく、すべてに適用されるべきです。

細かいただし書きに根拠のない訴訟が隠されている — 提案の第 1861.17(a) 項

提案 45 の発案者は、*San Diego Union-Tribune* 誌によれば、前回自分たちが発案した提案によって可能となった法的な異議申し立てから、何百万ドルもの収入を得た弁護士です。彼らは提案 45 の中に同じ条項を隠して、一時間あたり最大 675 ドルを請求することを許可し、費用のかかる医療訴訟からさらに何百万ドルもの利益を得ようとしています。

発案者は裕福になりますが、それを支払うのは消費者です。私たちの医療制度は、単一の特別利益団体が押し進めるたった一つの提案を通じて大幅な変更を行うには複雑すぎます。変更を行うのであれば、患者、医師、病院がその解決策に関与すべきです。

提案 45 に反対票を入れてください。

[www.StopHigherCosts.org](http://www.StopHigherCosts.org)

Monica Weisbrich 正看護師、会長  
California 看護師協会

José Arévalo 医学博士会長  
California ラテン系医師協会

Allan Zaremborg、会長  
California 商工会議所

★ 提案 45 の反対意見に対する反論 ★

Californian 州民は、健康保険業界から過剰請求されています。提案 45 は消費者を保護し、保険業界の便乗値上げに歯止めをかけます。本提案は、消費者に何百万ドルもの節約をもたらした California に既存する自動車保険保護策を健康保険に適用します。

California の保険市場の 88% をコントロールしている健康保険会社五社は、提案 45 に対抗するための \$25,300,000 もの資金を募っています。Blue Cross とその親会社である Wellpoint、Kaiser、Blue Shield、Health Net および United Healthcare の各社は、説明責任、透明性、または開示なしで、引き続き皆さんにできる限り高い料金を課そうとしています。

皆さんが健康保険を節約できるように、または皆さんの医療をより良いものにしようと、健康保険会社が 2,500 万ドルを費やしたことなどあるでしょうか？

以下が事実です。

- 提案 45 は、皆さんの給付内容や治療の選択肢を制限することなく、皆さんが健康保険に支払う金額のみを制限します。85,000 名の正看護師を代表する California 看護師協会が提案 45 を支持している理由はここにあります。
- California や連邦政府には、不当な健康保険料率に歯止めをかける権限を持った「委員会」はありません。提案 45 が、選出された保険長官に過度な保険料率の引き上げを否認す

る権限を与える理由はここにあります。2000 年以来、保険会社から選挙運動献金を受け取った保険長官はいません。保険会社が心配するのも無理はありません！

- 提案 45 によって新たな官僚機構が作られることはありません。健康保険会社は、その実施の費用を支払い、他の保険会社に適用されている、有権者に承認された提案 103 と同じ規則に従うことになります。保険会社は、これらの規則と過度の保険料率に対する消費者からの異議申立てを恐れているのです。消費者による異議申し立てによって、自動車保険会社、住宅保険会社、および事業保険会社が行った何十億ドルもの過剰請求が取り消しになっています。

[www.yeson45.org](http://www.yeson45.org)

Paul Song 博士、共同会長  
健康な California のキャンペーン

Henry L. "Hank" Lacayo、州担当会長  
California シニア評議会

Harvey Rosenfield、1988 年保険改革提案 103 の起草者